



海田東小だより

卒業式

Web ページ <http://www.kaitahigashi-e.ed.jp/>

E-mail kaitahigashi-es01@kaitahigashi-e.ed.jp

平成30年度 春休み号
海田町立海田東小学校

学校教育目標 **考え実践する 海田東っ子 よく学び よく遊び やさしく強く**

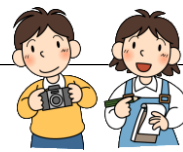
いよいよ3月20日（水）は卒業式です。

6年生の皆さん。保護者の皆様。ご卒業おめでとうございます。



主体的・対話的で深い学びに取り組んでいます。

先月号でも紹介しましたが、6年生は 総合的な学習の時間に「海田東小発 未来をえがく」という学習を行ってきました。引き続き、ご紹介します。



【よりより町づくりを目指して要望書を作成】

海田町の問題点について、アンケート調査やインタビューを通して明らかにすることにチャレンジしました。

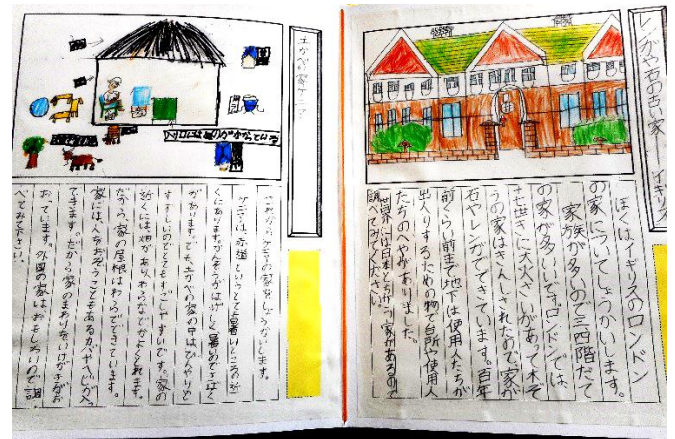
公園でのゴミのポイ捨て、公衆トイレの使い方、公園の雑草、交通事故防止のためのカーブミラー、ふれあいバスの啓発、犯罪防止のための街灯等一人一人の考えを出し合いながら、クラスで協議した結果を要望書にまとめ、役場との交渉を行うことができました。

実現はできませんでしたが、自分で考え実践することができました。海田町の一員としてよりよい町づくりの担い手になってくれると思います。これからも、お願いしますね。



【海田町立図書館で展示してもらいました】

第3学年 国語 世界の家のつくりについて考えよう「人をつつむ形～世界の家めぐり～」の学習をかし、世界のいろいろな家のつくりについての紹介文を大型本にしました。



第26回海田町小中学校読書感想文コンクール

毎月第2・4週末は
家庭読書の日です。
春休みもゆっくり
家族で読書の時間を！！

1 学年	迫畑 美咲	4 学年	竹内 智佳
2 学年	木原 寛季	5 学年	蓮池 小羽
3 学年	河原 友樹	6 学年	山本 彩愛

平成30年度 学校評価 最終報告

経営目標		評価指標	評価	結果の分析	
知	主体的・協働的に学ぶ意欲をもつ児童の育成 自分の考えを深めることのできる児童の育成	・保護者・地域の方参加型の授業を各学年1回以上実施	A	○授業実践 1年2回(生活) 2年1回(保護者) 3年2回(総合・社会) 4年2回(総合) 5年2回(総合) 6年2回(総合)保護者・地域の方の参加型授業実施。 ○学力調査 全国平均を+3Pt上回った学年…2/6学年 基礎的・基本的な内容は概ね定着している。 <国語科>目的や意図に応じて書くことに課題。 <算数科>量と測定、図形領域に課題。 <理科>物質・エネルギー領域の中で、物の体積と温度に課題。また、実験や観察の結果を分析し考察することに課題。 ○考えを深める 児童の意識調査結果:81%(中間より+4Pt) 教師の意識調査結果:100%(中間より+8.3Pt) 学び合いの場において、思考の視点を明確に示す。	
		・「全国学力・学習状況調査」県平均正答率との比較(3教科平均)	D		
		・「海田町標準学力調査(1学期版)」全国平均正答率との比較(+3ポイントの学年数)	D		
		・「海田町標準学力調査」全国平均正答率との比較(+3ポイントの学年数)	D		
		【児童】 友だちと話し合うなどして、自分の考えを深め、広げている。 【教師】 友だちと話し合うなど、考えを深め、広げる授業を行っている。	B		
徳	美しいあいさつや美しく整えることに取り組む児童の育成	【児童】【教師】 相手に聞こえる声で、あいさつや返事をしている。 【保護者】 わが子は相手に聞こえる声であいさつや返事をしている。	B	○あいさつ運動 意識調査の結果は、児童89%、保護者77%、教師81% 毎日の取組みにより、あいさつを意識付けることができた。	
		【児童】【教師】 相手に応じて、丁寧な言葉や敬語を使って話ができる児童の割合	B		○言葉遣い 意識調査の結果、児童84%、教師74% 教師の声かけにより、改善が見られたが、声かけがないとできない児童もいる。
		【児童】【教師】 靴箱のくつ(上ばき)やトイレのスリッパをそろえている。	B		
	自他の良さを認め合うことのできる児童の育成	【児童】 ・自分には良いところがあると考えている。 ・行事ごとに友だちの良いところをカードに書くことができる。	B	○はきものそろえ 意識調査の結果、児童90%、教師76% はきものをそろえようとする意識をもつ児童が増えたが、声かけがないとそろえられない児童もいる。 ○よいとこみつけ 意識調査の結果、児童76%、教師87% 児童の自己肯定感はまだ低いが、キラキラカードのおかげでよさを伝えることはできた。	
		・無遅刻・無欠席児童の割合<学期ごと>	A		○皆勤賞 2学期皆勤賞540人中301人で55.7%達成。数年間皆勤賞表彰を継続しているので、児童・保護者の中に皆勤賞が定着していると考えられる。 ○朝ごはん指導 朝食調査では、98%の児童が摂取しているが、中身に課題がある。今年度から朝ごはんの内容の調査をしたが、85.6%が主食・主菜・副菜がそろっていなかった。保護者との連携した取組が必要である。 ○外遊びの推奨 児童の意識調査結果:85% 教師の意識調査結果:98% 全員遊び(水曜日)・クラス遊びを取り入れることで、集団遊びが定着してきたと考えられる。教員も外で児童と一緒に遊ぶ。
自分から健康を考える子	進んで基本的な生活習慣の定着に取り組む児童の育成	【児童】【教師】休憩時間に外遊びをしている。	B		

学校評議員の皆様からご意見をいただきました。ご紹介いたします。

【知】 授業改善のために、研究授業や授業交流(校内及び校区内)を充実させてもらいたいと思います。思考力、表現力を育成するためには、読書や音読は大切な取組だと考えます。

【徳】 先生方にも、よい手本となってもらえるように取組を進めてもらいたいと思います。学校と保護者の更なる連携に努めてください。

【体】 基本的な生活習慣、正しい食生活が身に付いてこそ教育活動が充実してきます。全ての子どもが健康で、楽しく学校生活が送れるよう引き続き取組を進めてもらいたいと思います。皆勤賞表彰等児童の意欲向上に生かされています。今後も取り組んでください。